

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	白石市						
地域内総人口（人）	34, 027						
地域総面積（km ² ）	286. 47						
地域の要件	豪雪						
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

2. 目標の達成状況

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	21,780人	64.0%	20,065人	63.3%	19,361人	63.8%
	農業集落排水施設等	1,214人	3.6%	1,542人	4.9%	959人	3.2%
	合併処理浄化槽等	6,439人	18.9%	7,560人	23.8%	6,525人	21.5%
	小計：汚水衛生処理人口	29,433人	86.5%	29,167人	92.0%	26,845人	88.4%
	単独処理浄化槽等	686人	2.0%		0.0%	446人	1.5%
	非水洗化人口	3,908人	11.5%		0.0%	3,079人	10.1%
	小計：未処理人口	4,594人	13.5%	2,551人	8.0%	3,525人	11.6%
	合計：総人口	34,027人	100.0%	31,718人	100.0%	30,370人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	6,061キロリットル		3,388キロリットル		5,130キロリットル	
	浄化槽汚泥量	3,860キロリットル		4,365キロリットル		3,871キロリットル	
	合計	9,921キロリットル		7,753キロリットル		9,001キロリットル	

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道については、人口減少に比例して処理人口が減少した。また、農業集落排水施設にあつては薬師堂地区が令和3年度から公共下水道に接続、編入したことから大きく処理人口が減少したことが主な要因と考えている。合併処理浄化槽を含む汚水衛生処理人口は目標値の約9割に止まっているものの世帯居住者の高齢化などが要因となり合併処理浄化槽の設置や転換が伸びない状況にあるものと考えている。いずれも一定の実績値を示しているものの、集落排水事業では一部地区において水洗化が低調で推移していることは大きな懸案があるため、今後も積極的に対象地域の実情を調査して水洗化人口の増加につながるよう情報提供等に務める必要がある。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和12 年度まで

下水道事業は水道事業同様に広域化・共同化などの取り組みが全国的に広がりを見せおり、本市においても宮城県が主体となった広域化・共同化への取り組みをブロック単位で進めている。
そうしたなか本市も人口の減少傾向が続いており、特に中山間地域エリアではその影響が大きくなっており、下水道事業（集落排水事業含む）と比して今後は戸別合併浄化槽処理の普及により、各世帯が将来に向けた汚水処理の必要性、重要性のほか周辺環境の改善効果などを実感できるものに結びつけるよう、未水洗化住宅などへの啓蒙活動や市内浄化槽設置工事事業者などとも連携し、水洗化人口の増加を図る。

(都道府県知事の所見)

人口減少が続く中、今後は合併処理浄化槽などの分散型汚水処理の導入促進が汚水処理衛生人口の目標達成に大きく寄与されると思料されることから、循環型社会形成推進交付金を活用した汲み取り便槽や単独処理浄化槽からの転換を効率的に進められるよう努められたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。